

essais ころみ 2025年6月

2025年6月2日（月） 晴から曇

昨日はなんとか晴れた。今日は午後から曇り、明日は雨の予報。その後週末まで晴れる。その後梅雨入りか。

ー あなたとわたしの パーソナル・アシスタント考ー（1）

『コンセプト、スタンス、スタイル』 ④

話して、「はなせる」。話せる、離せる、放せる。安心して話せる、不穏に間をおける、個性を解ける。

LYK流パーソナル・アシスタントを着想した時から、「はなせる」を大事な役割を考えていた。意識することなく、当然視していた。

だから図書館で『ヘルピング・インタビュー 援助する面接』という本のタイトルを目にした時には、これだ！と思った。

本の内容自体は心理カウンセリングで、内容は全く覚えていないが、「はなせる」を適切に表してくれていると感じた。

ちなみにこの本はある相談者にプレゼントした。やりたい業をよくよく聴いていると、この本が役に立つのではないかと思った。

遠慮しがちに本を受けとったご本人。この段階ではどう役に立つのかピンときていない感じだった。

それから3年がすぎた昨年、その間に挑んだある資格に合格して、報告にきてくれた話。

「以前本をプレゼントしていただいたんですけど、覚えてらっしゃいますか？」。「もちろん、『ヘルピング・インタビュー』」。

もらった時、正直なところ、この本が自分にとってどういう意味をもつのか、わからなかった。そのまま本棚にしまったままだった。

先日ふと本が目にとまった。今の自分にとっては、この先の活動に役に立つテーマ。その本がいま自分の手元にある…。

「そのことがほんとうに不思議で…、こうなることがわかってられたのかなと思って、すごいなあ、と」。

たぶんたくさんの方の進路をみて、聴いてきているので、先の展開とか状況をなんとなくイメージできることはある。

そこで直感した象徴がその本だったのだと思う。この件の出発点の面談自体、「ヘルピング・インタビュー」だったといえる。